

2022年10月28日  
日立 Astemo 株式会社

## 2021年度ファクトリー・オフィス CO2 排出量を 2010 年度比で 11%削減

日立 Astemo 株式会社(代表取締役 プレジデント&CEO: ブリス・コッホ／以下、日立 Astemo)は、日立グループの一員として、脱炭素社会をめざした日立の環境長期目標「日立環境イノベーション 2050」に沿って、自社の事業所(ファクトリー・オフィス)での 2030 年度カーボンニュートラル達成、さらにはバリューチェーンを通じての 2050 年度カーボンニュートラル達成、という目標を掲げています。その目標達成に向けて、まずファクトリー・オフィスでの CO2 排出量を 2024 年度には 2010 年度比で 50%削減、2027 年度には 80%削減をロードマップとし、取り組みを推進しています。

日立 Astemo を設立して初年度を迎えた 2021 年度におけるファクトリー・オフィスでの CO2 排出量は、太陽光発電の導入やアルミ溶解保持炉の保持温度低減などにより、104 万 7 千トンとなりました。これにより、2021 年 1 月に経営統合した日立オートモティブシステムズ、ケーヒン、ショーワ、日信工業の 4 社における 2010 年度の CO2 排出量合計である 118 万 3 千トン から約 11%削減となりました。

また、日立 Astemo は製品・サービスによる CO2 排出量削減の貢献として、電動車両用のモーターやインバーター、電動アクスルといった高効率・高性能な電動化製品の普及促進を図り、2025 年度における電動化事業の売上収益を 4,000 億円超、さらに 2030 年度にはその 2 倍以上に拡大することをめざしています。

日立 Astemo は、パワートレイン&セーフティシステム事業をはじめシャシー事業、モーターサイクル事業、ソフトウェア事業、アフターマーケット事業から成る戦略的な事業ポートフォリオにより、事業強化と技術革新に取り組んでいます。「グリーン」、「デジタル」、「イノベーション」を軸とした成長をめざし、排出ガスを低減する高効率な内燃機関システムと電動システムでより良い地球環境に貢献し、自動運転や先進運転支援システム、先進シャシーシステムで安全性・快適性を向上させていきます。このような先進的なモビリティソリューションの提供を通じて、持続可能な社会の実現とともに、お客さまの企業価値の向上に貢献していきます。

### ■会社概要

日立 Astemo 株式会社

本社：東京都千代田区大手町二丁目 2 番 1 号 新大手町ビル

事業内容：自動車部品および輸送用ならびに産業用機械器具・システムの開発、製造、販売およびサービス

詳しくは、日立 Astemo のウェブサイト(<https://www.hitachiastemo.com/jp/>)をご覧ください。

以上